

業 種 別

付加価値額を業種別にをみると、飲料・たばこ・飼料が3928億8661万円（構成比16.3%）で最も多く、次いで一般機械が2468億5638万円（構成比10.2%）、その他2229億5406万円（構成比9.2%）の順となっています。

付加価値率は、飲料・たばこ・飼料が72.4%と最も高く、次いで窯業・土石68.3%、皮革54.3%の順となっています。

また、1事業所当たりの付加価値額をみると、飲料・たばこ・飼料が27億4746万円、次いで電子部品・デバイス17億7888万円、輸送用機械12億3224万円の順となっています。

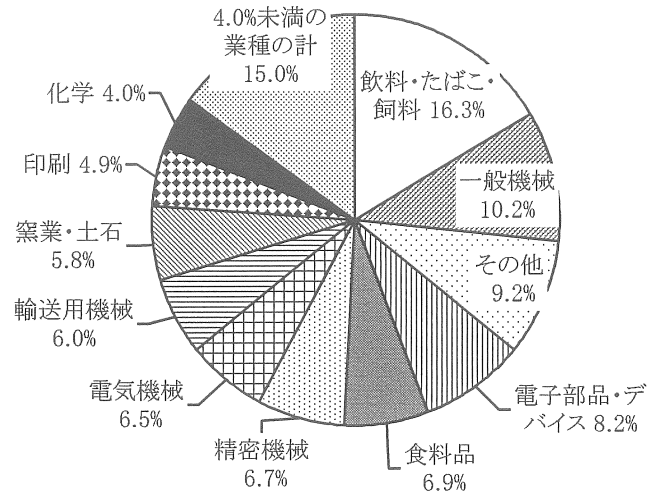
従業者1人当たりでみると、飲料・たばこ・飼料が1億84万円、次いでその他が6405万円となっています。

（表16、図21、22）

表16 産 業 中 分 類 別 付 加 価 値

区 分	生 産 額	付加価値額	前年比		付加価値率 (%)	1事業所 当たりの 付加価値額	前年比 (%)
			(%)	(%)			
総 数	573,290,274	241,485,302	—	100.0	43.8	42,019	—
09 食 料 品	41,303,782	16,611,105	—	6.9	40.6	26,835	—
10 飲料・たばこ・飼料	108,947,929	39,288,661	—	16.3	72.4	274,746	—
11 織 維	10,527,079	5,378,406	—	2.2	51.3	6,196	—
12 衣 服	4,652,879	2,040,525	—	0.8	43.9	6,377	—
13 木 材 ・ 木 製 品	5,205,628	1,793,656	—	0.7	33.5	13,385	—
14 家 具 ・ 装 備 品	3,036,135	1,419,412	—	0.6	46.0	8,111	—
15 パ ル プ ・ 紙	14,091,042	5,689,759	—	2.4	37.3	27,487	—
16 印 刷	32,495,732	11,802,898	—	4.9	36.1	28,169	—
17 化 学	20,005,402	9,767,093	—	4.0	46.4	86,434	—
18 石 油 ・ 石 炭	519,391	205,478	—	0.1	36.7	17,123	—
19 プラスチック製品	10,404,297	4,445,067	—	1.8	43.1	17,500	—
20 ゴ ム 製 品	619,305	255,335	—	0.1	41.9	21,278	—
21 皮 革	951,459	512,238	—	0.2	54.3	10,044	—
22 窯 業 ・ 土 石	20,856,069	14,002,118	—	5.8	68.3	59,583	—
23 鉄 鋼	7,611,563	1,558,317	—	0.6	19.6	31,802	—
24 非 鉄 金 属	13,520,395	2,765,625	—	1.1	19.8	56,441	—
25 金 属 製 品	18,084,946	9,021,242	—	3.7	49.4	17,249	—
26 一 般 機 械	56,637,217	24,685,638	—	10.2	43.6	38,571	—
27 電 気 機 械	40,232,490	15,776,663	—	6.5	37.1	56,145	—
28 情 報 通 信	8,996,868	1,759,117	—	0.7	16.7	60,659	—
29 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	31,747,342	19,745,548	—	8.2	51.3	177,888	—
30 輸 送 用 機 械	59,248,151	14,417,172	—	6.0	24.1	123,224	—
31 精 密 機 械	30,111,425	16,248,823	—	6.7	52.5	104,831	—
32 そ の 他	33,483,748	22,295,406	—	9.2	43.0	96,517	—

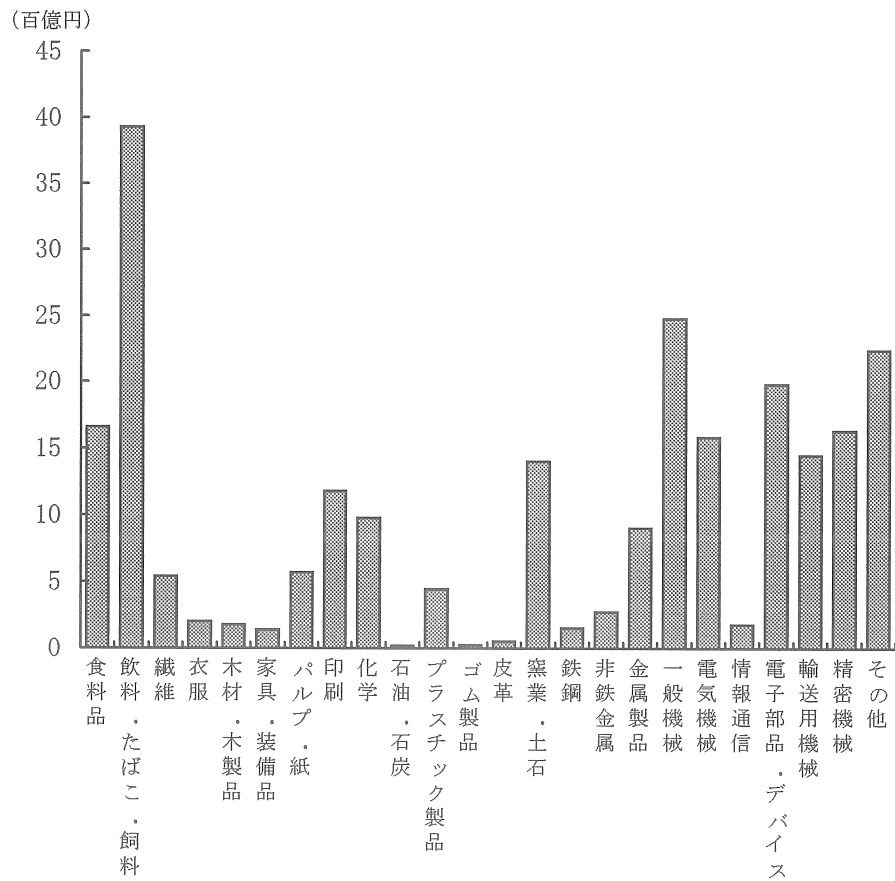
図21 産業中分類別付加価値額の構成比



(単位：万円)

従業者1人当たりの付加価値額	前年比 (%)
1,498	—
785	—
10,084	—
570	—
407	—
771	—
816	—
1,312	—
1,099	—
1,830	—
1,268	—
770	—
556	—
696	—
3,011	—
1,115	—
1,133	—
955	—
1,284	—
1,155	—
529	—
1,599	—
1,320	—
1,762	—
6,405	—

図22 産業中分類別付加価値額



6 現金給与総額

現金給与総額は、7347億円となり、前年と比べると1.7%（126億円）増加しています。

常用労働者1人当たりでみると460万円となり、前年と比べると0.6%（3万円）減少しています。

従業者30人以上の事業所の現金給与総額は、5627億円となり、前年と比べると1.5%（82億円）増加しています。内訳をみると、常用労働者の給与は、5063億円となり、前年と比べると6.3%（301億円）増加、その他の給与は565億円となり、27.9%（219億円）減少しています。

また、現金給与率は、11.8%となりました。

（表17・18、図23・24）

表17 現金給与総額の推移

（単位：万円）

区分 年次	現金給与総額			常用労働者1人当たり		
		前年比 (%)	平成17年 =100		前年比 (%)	平成17年 =100
平成14年	72,025,730	92.2	102.3	456	96.0	100.7
15	69,924,881	97.1	99.3	448	98.2	98.9
16	69,178,548	98.9	98.2	447	99.8	98.7
17	70,427,046	101.8	100.0	453	101.3	100.0
18	72,210,352	102.5	102.5	463	102.2	102.2
19	73,473,880	101.7	104.3	460	99.4	101.5

表18 現金給与総額の推移（従業者30人以上）

（単位：万円）

区分 年次	常用労働者の給与	その他の給与	総額	現金給与率	
				前年比(%)	(%)
平成14年	47,644,562	5,842,685	53,487,247	93.2	14.9
15	47,509,717	4,618,561	52,128,278	97.5	14.6
16	46,962,891	4,803,835	51,766,726	99.3	13.8
17	47,747,327	5,790,208	53,537,535	103.4	14.0
18	47,621,407	7,830,588	55,451,995	103.6	13.0
19	50,627,303	5,645,036	56,272,339	101.5	11.8

図23 現金給与総額等の推移(従業員4人以上)

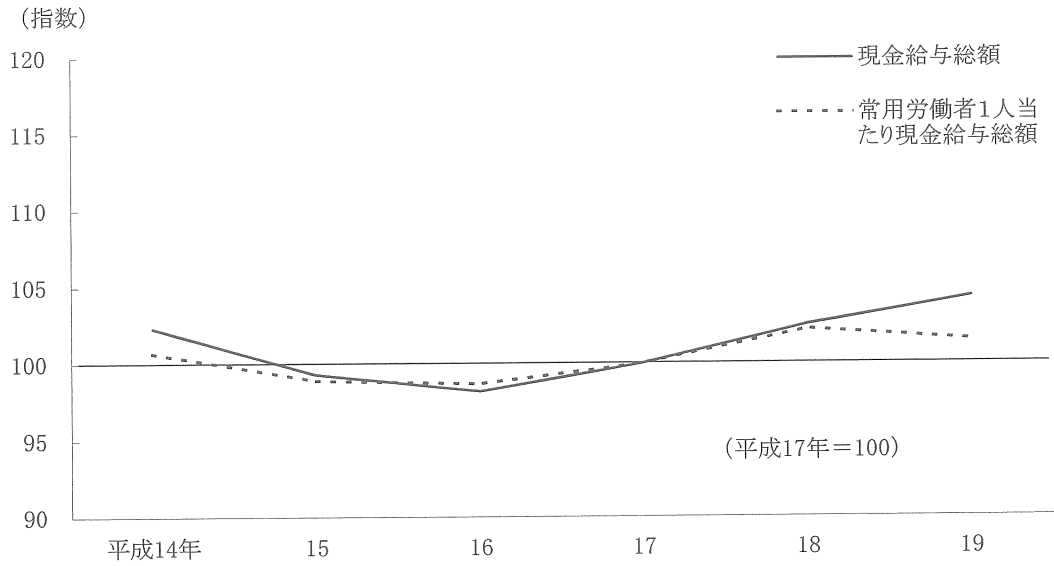


図24 現金給与総額等の推移(従業員30人以上)

